



やなぎさわ ひろゆき
柳 沢 浩 之
(清風クラブ)

交通政策・碓氷峠の森公園周辺整備・スポーツ振興について

2次交通について

問 2次交通の利用状況は。

答 令和元年度の利用者数は、路線バスが5路線合わせて4万7872人、乗合タクシーが2路線合わせて6908人です。利用者数は減少傾向にあります。

問 2次交通の厳しい現状を踏まえて本市の対策は。

答 路線バスでは、秋間中関・碓氷病院線の安中榛名駅への乗り入れ、通勤通学時間帯に安中駅発バス増便等の見直しにより、定期券の購入者が増加しました。利用促進を進めていきます。

問 市民生活の移動手段を確保するための考えは。

答 利便性向上のため、経路や運行時刻等を工夫すると共に、新たな移動手段の導入等を進めていきます。

問 バスマチ協力施設の推進を行い、路線バスの停留所の環境改善の考えは。

答 バスマチ協力施設事業は、路線バス利用者の待合環境改善のため、停留所付近の店舗等をバスマチ協力施設として登録する取り組みです。路線バス利用者が快適に待合時間を過ごせるよう、停留所付近の店舗等に登録を働きかけていきます。

その他、JR信越本線の活性化、鉄道文化むら、丸山変電所跡の有効活用、碓氷湖の整備、碓氷峠ヒルクライム大会の開催について質問しました。



こうめちゃんラッピングの乗合タクシー



おがわ つよし
剛
(清風クラブ)

雇用・労働について

安中市の雇用の現状について

問 働く場が近くになければ、安中市に住もう、定住したいと思う方が少なくなる。本市と他市の直近の有効求人倍率はどうか。

答 本市は令和2年9月0・75倍、渋川市0・87倍、藤岡市0・99倍、富岡市1・59倍となり、近隣他市より低い状況です。

働く場の確保に向けた取り組み

問 安中市では就職氷河期世代の採用を始めた。自治体の中途者採用で民間企業への波及も期待する。また、現職員にも良い影響や刺激が与えられると思う。本年の採用数と受験倍率は。

答 令和3年4月1日付け採用は3人で倍率は15・7倍でした。

問 西毛広域幹線道路の開通が2029年と災害対応で遅れる見通しだが、企業誘致の用地選定や周辺開発に関しての考えは。

答 国道18号線に次ぐ基幹道路とし重要性が高いと認識していま

す。沿道は、産業系用地や経済を潤せる施設、民間事業者の進出が進むよう、関連する施策の十分な調査を行い取り組みます。

労働者への行政支援について

問 非正規の女性がコロナ禍で厳しい状況にあるが支援はどうか。

答 総合的な相談窓口についてのチラシを每户配布予定です。

問 エイジフレンドリー補助金に対する企業への周知はどうか。

答 商工会等関係機関とも連携し、市広報等を活用し取り組みます。



周辺開発が期待される西毛広域幹線道路